

「ごみ」にしないで「資源」にしよう

ごみと資源の分け方・出し方

年末年始は家庭ごみが増える時期です。ごみの中には資源としてリサイクルできるものも混じっています。もう一度ごみと資源の出し方を確認して、できるだけごみを減らしましょう。

燃えるごみ

台所ごみ、資源化できない紙類、皮革・繊維類など
出すときの注意

- ・町指定のごみ袋に入れて出してください。
- ・家庭から出る生ごみの8割以上は水分ですので、水を切ってから出すと、ごみの減量になります。



不燃粗大ごみ

三方が60cm以上で、1m×1m×2m未満。石油ストーブ、スキー、ゴルフ用品、事務用機器など
出す時の注意

- ・エアコン・テレビ（ブラウン管式）・冷蔵庫・冷凍庫・洗濯機・パソコン・ディスプレイは出せません。（下の欄をご覧ください）
- ・ストーブなどは必ず電池や灯油を抜き取って出してください。



燃えないごみ

コップ、灰皿、ガラス、化粧品のビン、皿など
出すときの注意

- ・透明または半透明の袋に入れて出してください。
- ・ガラスや陶器類は紙にくるんでから透明な袋に入れてください。



再利用ビン

一升ビン（茶色）、ビールビンなど
出すときの注意

- ・中を水洗いしてください

資源ごみ

飲み物・食べ物・調味料が入っていた缶・びん、カセットボンベ・スプレー缶など
出すときの注意

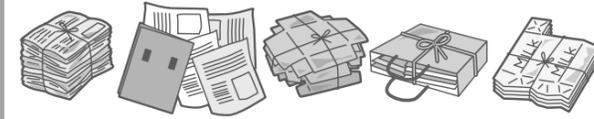
- ・缶・ビンは中身を使い切って、キャップをはずし、中を水洗いしてください。中にたばこや串など異物を入れないでください。
- ・カセットボンベやスプレー缶は中身を使い切ったうえで、火の気のない風通しのよいところで穴を開けてから出してください



古紙類

新聞、雑誌、ダンボール、牛乳パック（500cc以上のもの）など
出すときの注意

- ・雨に濡れないようにして出してください
- ・牛乳パックは500cc以上のものに限り、水で洗って切り開いてからひもをはずしてください。
- ・アルミやフィルムでコーティングがしてあるものは古紙で回収できないので、燃えるごみに出してください。
- ・フィルム等がはがせる場合は、取り除いて出してください。



発泡スチロール

食品トレイ、発泡カップなど
出すときの注意

- ・シール、テープをはがして水洗いしてください。

軟質プラスチックなど

エアークャップ、お菓子の包装袋、ラーメンの袋、卵パック、豆腐容器、CD、牛乳パック（500cc未満のもの）など
出すときの注意

- ・容器類はよく洗ってください。汚れがとれないものは燃えるごみに出してください。
- ・木は1週間程度乾燥させてください。生木は回収できません。

ペットボトル

♻️と表示してあるもの
出すときの注意

- ・キャップをはずして（キャップは軟質プラスチックへ）、中を水洗いしてください。
- ・ラベルをはがしてください。（ラベルは軟質プラスチックへ）
- ・取手を取り外してください。（透明取手はそのまま結構です。）

3Rの優先順位

最近耳にする機会の多い3R（リデュース、リユース、リサイクル）という言葉ですが、実は3Rには優先順位があります。エネルギーの負荷が少ないものから実践していきましょう。

1位Reduceリデュース ごみを出さない

ごみになるものを買わない等、ごみそのものを抑制します。必要のないものは買わない、使い捨てなどごみになりそうなものを使わないなど、ごみを減らすもっとも効果的な方法です。

2位Reuseリユース 再び使う

一度使ったものをすぐ捨てずに、再び利用します。ビールなどの瓶を回収して再利用することや、古着や中古品がこれに当たります。使用済みの製品を使って、新しい製品を作ることも再使用に繋がります。

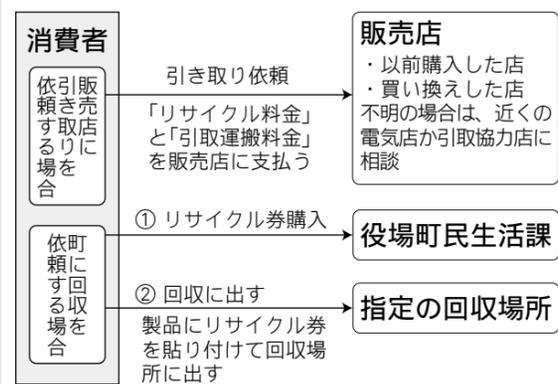
3位Recycleリサイクル 資源として再び使う

いらなくなったものを捨てるのではなく、分類して集め、資源として再利用します。古紙、ペットボトル、空き缶、空き瓶、軟質プラスチックなどの分別収集がこれにあたります。

■ エアコン、テレビ（ブラウン管方式）、冷蔵庫、冷凍庫、洗濯機

以前購入した販売店か、買い換え販売店にリサイクル料金などを支払って、引き取りを依頼してください。

ただし、引き取りができないときは、エアコン、テレビ、洗濯機は町民生活課でリサイクル券を購入し、指定の回収日に出すこともできます。



■ デSKTOPパソコン、ディスプレイ、ノートパソコン

メーカー等の受付窓口に事前に回収を申し込み、リサイクル料金を支払いのうえ、郵便局に持ち込むか、戸口回収を依頼して引き渡してください。（リサイクル料金の支払いが必要ないものもあります。）

回収窓口

各メーカーのホームページに掲載されています。自作パソコンなどはパソコン3R推進センターへお問い合わせください。（<http://www.pc3r.jp/>）

